

山形県立東桜学館中学校 令和3年度経営計画

- 【基本理念】 「高い志」「創造的知性」「豊かな人間性」  
 【学校教育目標】 1 地域社会及び国際社会の発展に貢献しようとする高い志を育てる。  
 2 豊かな感性や探究心と論理的な思考力を基盤とした創造的知性を育てる。  
 3 心身ともに健やかで、郷土愛と公共の精神に富む豊かな人間性を育てる。

※評価A～D(A:十分に目標達成 B:目標達成 C:もう少しで目標達成 D:目標達成まで努力)

| 目標と方策   | 【評価項目】評価内容(目標数値)   | R02年度実績         |
|---|--|-----------------|
| <b>I 高い志をもつ生徒を育てる</b>   |  |                 |
| <b>1 将来の進路の実現に向け、高度な学習に粘り強く挑戦しようとする意志をもつ生徒を育てる。(教務図書課)</b>  |  |                 |
| (1) 生徒一人ひとりが能動的に学習に取り組めるような学習活動を計画したり、ICT機器を効果的に活用したりするなどし、生徒の興味や関心を喚起する学習環境を整備する。  | 【学校評価・生徒3】「授業や講習などで、自分の学習到達度をもとに基礎を固めたり、難しい問題に挑戦したりしている。」(AとBで90%以上)                 | 91.9%           |
|   | 【学校評価・保護者4】「子供は、目標をもって学業生活を送っている。」(AとBで90%以上)  | 86.9%           |
|   | 【学校評価・教員8】「ICTを効果的に活用し、学習指導が行われている。」(AとBで90%以上)                                      | 100.0%          |
| <b>2 養成期や伸長期の初期指導として、学ぶ基礎となる「自己管理能力」を育てる。(進路学習課)</b>  |  |                 |
| (1) 「Weekly Compass(学館オリジナル生活ノート)」「自己管理能力チェック項目」を活用し、行動の意識化を図る。<br>(2) MT(まなびタイム)、家学ノート、ミスティクノートを活用し、復習する機会を増やす。  | 【学校評価・生徒10】「自己管理能力18項目」の中で、自分が努力したい項目をあげ、意識しながら取り組んでいる。」(AとBで80%以上)                  | 72.6%           |
|   | 【学校評価・生徒11】「Weekly Compassを活用し、3点固定・朝食・家学と家読の時間等を意識しながら生活している。」(AとBで80%以上)           | 95.1%           |
| <b>3 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを推進し、探究心を持ち、主体的に課題を解決しながら自立して学ぶ生徒を育てる。(研究課)</b>  |  |                 |
| (1) 校内研究、互見授業、授業づくりの基礎・基本点検を通して、教員の学習指導力の向上を図る。   | 【学校評価・教員7】「日常の学習指導の中で、『指導と評価の一体化』を意識した授業を積極的に行っている。」(AとBで80%以上)                      | 新規              |
|   | 【授業づくり基礎・基本点検】授業づくりの基礎基本の自己評価の平均値が2.7(3.0満点以上)である。                                   | 2.81            |
|   | 他校の授業研究会や校外の研修会に参加した教員の報告数を100%とする。  | 100.0%          |
| <b>4 マイコンパス(キャリア教育の総称)を通して、社会を知り、社会性を養い、社会に貢献する姿勢を育てるとともに、大学入試や入試改革を踏まえ、中学段階でできる準備を促進する。(進路学習課)</b>   |  |                 |
| (1) 授業や職場体験・キャンパスツアー等の諸活動を通じて、自己や「生きること」「働くこと」「学ぶこと」への理解を深めさせる。<br>(2) 社会人や学識者による講演会やワークショップ、クエストなどの体験的に学ぶ機会を重視する。<br>(3) 保護者の人材バンクを設置し、キャリア教育への協力を依頼する。<br>(4) 「キャリアパスポート」を作成し、高校との連携を図る。              | 【学校評価・生徒5】「授業を通して、働くことや職業について考えることがある。」(AとBで80%以上)                                   | 88.8%           |
|   | 【学校評価・保護者9】「将来の生き方や働き方について考える学習が展開されている。」(AとBで80%以上)                                 | 91.5%           |
|   | 【学校評価・教員10】「マイコンパスにおける肯定的自己理解や職業観・勤労観、将来設計の立案が育まれるよう各学年の計画にもとづいて実践されている。」(AとBで80%以上) | 70.6%           |
| <b>5 生徒一人ひとりの個性や能力を生かしながら、互いに切磋琢磨し合い、自己管理と自己伸長ができる生徒を育てる。(生徒課)</b>  |  |                 |
| (1) あらゆる場面で生徒指導の三機能(自己存在感、共感的人間関係、自己決定)を生かし、互いに協力し合い、高め合える雰囲気をつくることで、生徒が活躍できる場を構築する。<br>(2) 高い目標を掲げ、互いに励まし合い努力し、自己表現できるようにする。<br>(3) 各学級で「思いやりの芽を育てる全校アクションプラン」を作成し、スローガンや具体的施策を掲示し、学期ごとに振り返りを行う。       | 【学校評価・生徒17】「学校行事や学年行事等に積極的に参加し、自分の力を発揮するよう努めている。」(AとBで85%以上)                         | 93.3%           |
|   | 【学校評価・生徒18】「仲間とともにいろいろな活動を協力して行っている。」(AとBで85%以上)                                     | 98.2%           |
|   | 【学校評価・生徒19】「学校に相談できる人がいる。」(AとBで85%以上)  | 86.9%           |
|   | 【学校評価・生徒20】「学級で決めた「思いやりの芽を育てる全校アクションプラン」を実行し、いじめのない学級づくりを心がけている。」(AとBで85%以上)         | 新規              |
| <b>6 健康・安全についての意識を向上させ、自己管理能力を高める。(保健課)</b>   |  |                 |
| (1) 毎朝の健康観察で、生徒一人ひとりの状況を的確に把握し、保健室や保護者との連携を密にし、生徒理解に努める。<br>(2) 健康診断等で治療勧告のあった生徒が、確実に医療機関を受診するよう、担任団と協力し、学校保健委員会や専門家の助言を得ながら取り組む。<br>(3) 清掃場所を2週間に1回ずつ交代しながら、取り組み方の意識を高め、新しい校舎をいつまでもきれいなままで保とうという姿勢を育む。 | 【学校評価・生徒2】「健康な生活が送れるよう健康管理に努めている。」(AとBで80%以上)  | 93.0%           |
|   | 「精密検査・治療の勧め」に対する報告をする。(75%以上)  | 1月現在<br>72.0%   |
|   | 【学校評価・生徒15】「清掃活動にまじめに取り組み、学習環境を清潔に保つことができた。」(AとBで80%以上)                              | 97.5%           |
|   | 【学校評価・教員19】「生徒の心身の健康・安全について十分留意・配慮しながら指導がなされている。」(Aで50%以上)                           | 100%<br>A:76.5% |
| <b>II 創造的知性をもつ生徒を育てる</b>  |  |                 |
| <b>1 生きて働く知識・技能、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等、主体的に学習に取り組む態度をバランスよく育成する。(教務図書課)</b>   |  |                 |
| (1) 学習評価や生徒による授業評価アンケート授業改善に活かして、授業改善に取り組む。授業変更柔軟に対応し、授業時間の確保に努める。  | 【授業評価・保護者7】「定期考査の結果等、学習に関する情報提供はわかりやすい。」(AとBで90%以上)                                  | 87.8%           |
|   | 【学校評価・教員4】「生徒一人ひとりの学習状況の把握を意識し、より効果的な学習指導がなされている。」(AとBで90%以上)                        | 100.0%          |
| <b>2 論理的な思考力や協働して創造する力の源となる、基礎的な学力や知識を身につけさせる。(進路学習課)</b>   |  |                 |
| (1) 生徒一人ひとりの状況に応じて、発展問題や補充問題を提供し、個別指導を進める。<br>(2) 模試を精選し、データ分析を通じて、授業と生徒一人ひとりの学力伸長状況を点検する。  | 【学校評価・生徒6】「家学と家読で、毎日2時間以上行っている。」(AとBで80%以上)  | 92.2%           |
|   | 【学校評価・生徒7】「家学ノートやミスティクノートを活用し、復習に取り組んでいる。」(AとBで80%以上)                                | 93.0%           |
|   | 【学校評価・生徒3】「授業や講習などで、自分の学習到達度をもとに基礎を固めたり、難しい問題へ挑戦したりしている。」(AとBで80%以上)                 | 91.9%           |
| <b>3 未来創造プロジェクト(総合的な学習の時間の総称)を通し、SSHで身に付けさせたい3つの力と2つの態度を育てる。(研究課)</b>   |  |                 |
| (1) 未来創造プロジェクトにおいて、各学年の内容に合った大学や企業の講師と連携し、デザイン思考の考え方を取り入れながら、自ら課題を設定し探究するカリキュラムを構築し、実践する。   | 【学校評価・生徒4】「未来創造プロジェクトへ真剣に取り組んでいる。(外部講師の先生の授業も含む。)」(AとBで90%以上)                        | 98.6%           |
|   | 【学校評価・教員9】「未来創造プロジェクトが計画に基づき、身につけさせる力が育まれるよう実践されている。」(AとBで80%以上)                     | 88.2%           |

山形県立東桜学館中学校 令和3年度経営計画

- 【基本理念】 「高い志」「創造的知性」「豊かな人間性」  
 【学校教育目標】 1 地域社会及び国際社会の発展に貢献しようとする高い志を育てる。  
 2 豊かな感性や探究心と論理的な思考力を基盤とした創造的知性を育てる。  
 3 心身ともに健やかで、郷土愛と公共の精神に富む豊かな人間性を育てる。

※評価A～D(A:十分に目標達成 B:目標達成 C:もう少しで目標達成 D:目標達成まで努力)

| 目標と方策  | 【評価項目】評価内容(目標数値)   | R02年度実績         |    |
|--|--|-----------------|----|
| <b>Ⅲ 豊かな人間性をもつ生徒を育てる</b>   |  |                 |    |
| <b>1 家庭や地域との連携を図り、教育環境や教育活動の充実、生徒の健全育成に努める。(総務課)</b>   |  |                 |    |
| (1) 感染症予防に努めながら、PTA活動や各種行事等を実施し、会員の出席率を高められるよう、各種案内の配付及びホームページ等の掲載を開催1ヶ月前に行う。<br>(2) 緊急連絡体制を周知するとともに、必要な場合、速やかな連絡に努める。   | 各種会合、行事への保護者の参加率80%以上。   | 12月保護者<br>93.5% | 新規 |
|  | 携帯メール連絡網(マメール)の登録率100%。  | 家庭数の<br>100%    |    |
|  | 【学校評価・保護者1】「本校の基本理念や学校教育目標に基づいた教育実践が行われている。」(AとBで80%以上)                          | 98.1%           |    |
| <b>2 本校の情報発信を積極的にを行い、地域に開かれた学校づくりに寄与する。(総務課)</b>   |  |                 |    |
| (1) PTA会報や学年だより等の刊行物を通し、他分掌の協力を得ながら、学校の様子を家庭や地域へ積極的に広報する。<br>(2) 各分掌や学年、部活動顧問等と連携し、ホームページの更新を積極的にを行い、タイムリーな情報発信に努める。   | 【学校評価・保護者3】「学年通信、学級通信などの配付物や本校ホームページを通して、学校の様子がわかる。」(AとBで80%以上)                  | 94.3%           | A  |
|  | 【学校評価・教員16】「自分が担当している教育活動について、ホームページで積極的に情報発信を行い、「開かれた学校づくり」を心がけている。」(AとBで80%以上) | 88.2%           |    |
| <b>3 積極的に読書や新聞に親しみ、豊かな感性と人間性を育てる。(教務図書課)</b>   |  |                 |    |
| (1) 図書委員会や編集委員会の生徒会活動とタイアップし、朝読書の徹底と読書ノートの記入、新聞の活用を推進していく。   | 【学校評価・生徒8】「進んで本や新聞を読んでいる。」(AとBで80%以上)  | 71.6%           | 新規 |
|  | 【学校評価・生徒9】学習メディアセンターやまなびあテラス等の公共の図書館で読書したり、学習したりするなど利用している。(AとBで80%以上)           | 61.4%           |    |
| <b>4 自分の周囲の人、置かれている環境に感謝の心をもち、互いに協力し合える生徒を育てる。(生徒課)</b>  |  |                 |    |
| (1) 朝夕、授業開始・終了時、給食前後のあいさつや会釈等を通して、他への感謝の心を態度で表すことができるようにする。<br>(2) 身だしなみなどの基本的な生活習慣を早期に確立させ、東桜学館生としての自覚をもつことができるようにする。<br>(3) 様々な活動を通し、自分のよさに気づくことができるとともに、他者のよさを賞賛することができるようにする。  | 【学校評価・生徒1】「進んであいさつや返事をしている。」(AとBで85%以上 A50%以上)                                   | 95.1%           | 新規 |
|  | 【学校評価・生徒14】「ボランティア精神を持ち、学校内や学校外で他者のために行動することができる。」(AとBで85%以上 A50%以上)             | 88.4%           |    |
|  | 【学校評価・生徒15】「清掃にまじめに取り組むとともに、常に学習環境をきれいにしようと思っている。」(AとBで85%以上 A50%以上)             | 96.2%           |    |
| <b>5 明確な目標を持って諸活動に取り組み、自主的・創造的に活動できる生徒を育てる。(生徒課)</b>   |  |                 |    |
| (1) 様々な活動を通して自分の良さに気付きつつ、かつ、友人の良さも認めることができるようにする。<br>(2) 各種委員会の積極的な活動や各種学校行事から様々な立場を経験して、集団力と個の実践力向上を目指す。<br>(3) 効率的・効果的な部活動や各種大会を通じて、意欲的に取り組むことができる環境を作り、それらの活動を通して達成感を得られるようにする。 | 【学校評価・生徒13】「生徒会活動や学級の係活動などに責任をもって取り組んでいる。」(AとBで85%以上 A50%以上)                     | 97.9%           | 新規 |
|  | 【学校評価・生徒12】「部活動を精一杯取り組んでいる。」(AとBで85%以上 A50%以上)                                   | 98.9%           |    |
| <b>6 生徒・保護者との相談活動を通して、悩みや問題を抱えた生徒の早期発見と支援に努め、適切な方向に導くことができるようにする。(保健課)</b>   |  |                 |    |
| (1) 「心のアンケート」を月1回実施し、生徒一人ひとりの心の在り方について把握し、必要に応じてSCや教育相談委員会と連携しながら、問題の解決に取り組む。<br>(2) 年2回実施するQ-Uの結果を分析し、職員間で共有し学級経営や授業などにおける生徒支援に活かす。   | 【学校評価・生徒19】「学校に相談できる人がいる。」(AとBで95%以上)  | 93.7%           | 新規 |
|  | 長期欠席生徒ゼロを目指し、30日以上欠席生徒の割合を減少させる  | 新規              |    |
| <b>7 食物や作ってくださる方々への感謝の気持ちを持ち、心と体を健全に成長させるために好き嫌いをなく給食を食べる生徒を育てる。(保健課)</b>  |  |                 |    |
| (1) 学校栄養士と協力しながら、地産地消メニューについて学んだり、給食委員会の「残菜0」を目指す取組みを積極的に行ったりしながら、心を育てる食育を進める。   | 【学校評価・生徒16】「たのしく給食を食べることができている。」(AとBで80%以上)                                      | 92.9%           | A  |
|  | 【学校評価・保護者14】「地産地消や旬の食べ物を取り上げ、給食を提供するなど、心と身体を育む食育が推進されている。」(AとBで90%以上)            | 95.0%           |    |
|  | 東根市や山形県で生産されている食材、特色ある食材を使用し、献立で紹介している。(毎月)                                      | 毎月紹介            |    |
| <b>8 地域社会の人々や仲間と交流を推進し、協働する力や、地域に対してアイデアの提案をする力を身につけさせる。(研究課)</b>  |  |                 |    |
| (1) 未来創造プロジェクトの学習過程で、生徒に大学・研究機関や企業など地域社会の多様な人々と情報交換する取組を推進したり、中間または成果発表会等で互いに助言し合う場面を設定したりする。<br>(2) 見出した地域の問題を自分事に引き寄せ、解決策を繰り返し模索させながら、よりよい提案をさせる。                                | 【学校評価・生徒14】「ボランティア精神を持ち、学校内や学校外で他者のために行動することができる。」(AとBで80%以上)                    | 88.4%           | 新規 |
|  | 【学校評価・生徒18】「仲間を大切にし、いろいろな活動を協力して行っている。」(AとBで80%以上)                               | 98.2%           |    |